

# 窓

## ミセスインターナショナルグローバル 世界大会 アンバサダー賞受賞

私は7月下旬から1週間マレーシアで開催された「ミセス インターナショナル グローバル 世界大会」に参加しました。

ミセスコンテストなんて一昔前には考えられませんでした。全くの興味・関心・好奇心から日本大会へ参加することを決め、めでたく日本代表となり世界大会へと駒を進めました。

このコンテストはマレーシアに本部を持つ団体が主催しており、“BE B.R.A.V.E (Building Respect And Value for Everyone and let's put an end to bullying!)” (勇敢であれ、いじめをやめよう) が大会理念で、コンテストでは結婚や出産、子育てを経た女性たちの成熟した人間性や生き方も審査していきます。

今年度は、約20ヶ国・地域から選出された総勢約50名のミセスたちが、45歳以下(ミセスカテゴリー)と46歳以上(クラシックカテゴリー)の2つのカテゴリーに分かれて、コンテストに臨みました。

大会参加にあたり、準備するモノやコトは多岐に渡り、それ以外にも、私事ではありますが、結構なボリュームの仕事(高度管理医療機器販売業・長岡市)を1週間不在にするという不安と、業務を滞りなく運営する算段に追われた毎日でした。大会期間中のブリーフィング(簡単な報告)は当然英語と中国語で行われ、頭の翻訳機能をフル回転させ、かつタイトなスケジュールをこなし、普段の行動も審査されるため猫を被り続け、ヘトヘトになりながら過ごすこと1週間。グランドファイナルでは、ドレス審査とナショナルコスチューム審査を経て授賞式を迎え、私はどうにか入賞することができました。

大会を通じて、長寿高齢化は世界的に進んでいると実感しました。わが国でも人生100年時代と言われていますが、この流れは先進国はもちろん新興国でも然りで、それに付随して発生する長寿社会をいかにより良く生きるか?の問いに様々な提案やオプションが求められています。

70歳や80歳になっても美容に気を使いおしゃれであり続けることと健康寿命増進は密接な関係を持っています。また新興国の女性たちも、実に美しく装っている様子から美容ニーズは世界的にますます高まると確信しました。

健康・美容分野において、これから益々日本の活躍が期待される場所です。

▶クラシックカテゴリーにて  
アンバサダー賞を受賞



ささがわ まさこ  
笹川 正子

有限会社 光明舎  
代表取締役



All photography copyright reserved by 512 Studio  
Mrs International Global 2019